



平屋の屋根一面にソーラーパネルを設置。効率のよい発電が可能になります

## 太陽のエネルギーが 家族の生活を 明るく照らしてくれました。



山之口町  
Nさま邸

太陽光発電のおかげで、ご家族の節電意識も高まったといえます。

「照明をすべてLEDにしたり、省エネエアコンをより効率的に使ったりと、家族でさまざまなアイデアを出し合いながら節電を楽しんでいます」。

小さなアイデアの積み重ねが、気がつけば大きな成果になっている。電気代の明細書を見ると、日々の節電が重要だと気づかされるそうです。

もはや大量消費が贅沢な時代ではありません。それは、電力も同じこと。少ない消費で、いかに満足感が持てるか。それは、各家庭の工夫にかかっているといえそうです。



1.



2.

1.モニターでは、今の状況とこれまでの実績を確認することができます

2.自慢の広々ウッドデッキ。日当たりがいいので心地よく、子どもたちも大好きな場所です

Nさんのお宅には、屋根いっぱいソーラーパネルが取り付けられています。念願のマイホームを建てたのは、2014年6月のこと。大工であるお父様の手で建設されました。

Nさんのお宅では、太陽光発電システムと同時に、相性がいいオール電化を導入しました。

共働き世帯なので、子どもたちが学校に行っている昼間は、誰も電気を使いません。その生活スタイルを生かして、昼間に太陽光で発電した電気は売電。家族が帰宅する夕方からは、昼間よりも買電する電気代が割安となるので、節約にもつながります。

「もちろん、太陽光発電には満足しています。けれど、ソーラーパネルを付けても、あまり効果がないお宅というのもあるようです。取り付ける前に、しっかりシミュレーションをしてくれる施工会社を選んだほうがいいですね」。

Nさんがパートナーに選んだのは、都城市の(株)木田電業。周囲の環境や屋根の形に合わせて、もっとも効率的なパネル配置を提案してくれるといえます。せっかくソーラーパネルを付けるなら、その性能を最大限に引き出すことが重要です。

### 株式会社木田電業

宮崎県都城市山之口町富吉4192-4

TEL.0986-57-4305

http://www.kida-dengyo.com/

さまざまなメーカーの太陽光発電・蓄電池システムなどを取り扱っています。ホームシアターインストールにも定評があります。

# これからの太陽光発電は、HEMSで管理。 未来は、もうそこまできています。

**電気の買取制度は  
抜本的に見直し。  
本質的なメリットを  
考える時代へ。**

これまで、国はソーラーパネルを設置する家庭を対象に、補助金を支給して来ました。その成果もあって、太陽光発電が急速に普及してきました。しかし、補助金制度はすでに終了。加えて、電力会社が10kw以上の発電システムから電気をすべて買い取る「全量制度」も頭打ちとなりました。

一方、一般住宅で採用例が多い余剰分の電力を売る10kw以下のシステムは、これまでと同じように認定されます。設置後10年間、固定価格での電気の買取を保証している点も継続されます。電気を売る楽しみが大きくなれば、日中の電気使用を控える家庭が増えるはず。そうなれば、省エネにつながります。

太陽光発電の本質的なメリットは、地球環境に貢献できること。経済的な損得ではなく、本来あるべき考え方にシフトしているといえそうです。

**電力自由化への取り組みが加速。  
創る、蓄える、省エネを管理する。  
新しいシステムが、はじまります。**

2016年春には、電力自由化が予定されています。これにより、電気小売に新規業者の参入が認められます。その結果、電気をどこから買うか、消費者が選べるようになるのです。反対に、自宅が発電させた電気をどこに売るかも選ぶことができます。買うときはより安く、売るときはより高く。そんな時代が、目前に迫っています。

ここで大きなチカラとなるのが、蓄電池やHEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)です。ポイントは、エネルギーを蓄え、管理することにあります。

蓄電池やHEMSを使うと、自宅の太陽光発電で余った電力を売電し、夜間に割安な電力を蓄電することが可能になります。こうして備蓄した電気は、朝や夕方、雨の日など太陽光が発電しない時間帯に使うことができます。そのおかげで、割高な電力の購入を控えることができるのです。電力の流れは、専用モニターや

### スマートハウスって、なに？

最近よく耳にする「スマートハウス」とは、どんなスタイルの住宅だかご存知ですか？ スマートハウスは、太陽光発電だけでは成り立ちません。大切な3つの要素があります。

- 【創エネ】太陽光発電・燃料電池など
- 【蓄エネ】家庭用蓄電池
- 【省エネ】高断熱・省エネ家電など

ここにHEMSが加わると、エネルギーを一元的に管理し、最適に制御する住宅ができあがります。これが、スマートハウスです。HEMSがエネルギー需給量を制御することで、経済的で快適な省エネを実現することができます。

また、コントロールされる側の家電も、今後「スマート家電」化。HEMSとの連携が強化され、私たちの身の回りは、さらに便利に快適に進化していきます。

タブレット、TVなどエネルギー情報の「見える化」でモニタリングすることができます。電力の売買状況も一目瞭然です。すると節電目標が生まれ、家族の節電意識も高まるのが期待されます。

家庭からエネルギーの未来をスマートに考える。そんな時代は、もうはじまっています。